

### 看護研究へのご協力をお願い

2022年12月～2023年3月に東4病棟に入院歴があり、前立腺がん  
または膀胱がんの疑い・告知を受け、苦痛のスクリーニングを記載された  
患者さんへ

研究テーマ：入院時の苦痛のスクリーニングから考える  
前立腺がんと膀胱がん患者の心理的特徴

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の目的

苦痛のスクリーニングが看護の場面で効果的に活用できているか詳細に分析することにより、問題点を抽出し今後の取り組みに対して参考とさせていただきます。

### 2) 研究の意義

苦痛のスクリーニングとは、がん患者さんの身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛などの問題に対して、診断時から外来および病棟できちんとした評価を行い、それが障害とならないように対策を考えることでQOL（生活の質・生命の質）の向上を目指すものです。

当院では緩和ケアチームを中心に2020年から苦痛のスクリーニングを行っています。これまでの取り組みが有効であったのか振り返る必要があると考えています。苦痛のスクリーニングで得た情報が看護に繋がり、患者さん・その家族が安心して療養生活を過ごして頂くためにも改善が必要であると思い、今回の研究で問題点を抽出し、改善を目指した今後の対策に向け分析します。

## 2. 研究の方法

東館4階病棟で2022年12月～2023年3月に入院歴があり、前立腺癌または膀胱癌の疑い・告知を受け、苦痛のスクリーニングを記載された患者さん

### 1) 対象となった患者さんの電子カルテから以下の項目を集計します。

患者背景：性別・年齢・病名、癌のステージ 家族関係

### 2) 対象となった患者さんの苦痛のスクリーニングから以下の項目を集計します。

①からだのつらさ、②不安や気持ちのつらさ、③当面の療養場所、通院などの気がかり、④経済面や仕事のきがかかり、⑤日常生活（食事やトイレ、外出など）、

⑥ご家族の介護、子どもの世話、ペットのことなどでの気がかりについて

以下の事項を調査します

(2-1) どの項目への気がかりがあるか

(2-2) 気がかりの内容について

3) 2) で得られた結果が、疾患、年齢、家族背景とどのような関係があるかを検討します

#### 4) 情報の保存

本研究で収集した情報は、研究終了後は5年間保存させていただきます。

保存した情報を用い新たな研究を行なう際は、改めて臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、承認された後に行ないます。その情報はホームページ上に掲示いたします。

#### 5) 情報の保護

本研究で収集した情報は、原三信病院が管理する対応表に保存し、プライバシーが保護されるよう厳重に管理します。

### 3. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の保護に支障ないの範囲で、この研究計画書などを閲覧または入手することができますので、お申し出ください。研究結果は、学会や論文等で発表しますので、ご理解ください。

### 4. 情報の使用を望まれない場合

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2024年1月までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も、診療や病院サービスにおいて不利益が生じることはありませんので、ご安心ください。

### 5. 本研究の責任者および問い合わせ先

#### ・研究責任者

原三信病院看護部 看護部 横田亜水

#### ・問合せ先

原三信病院 東館4階 横田亜水

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8

TEL : 092-291-3434